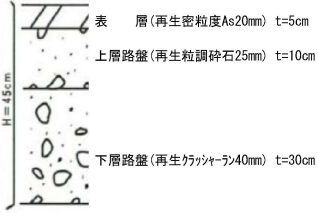
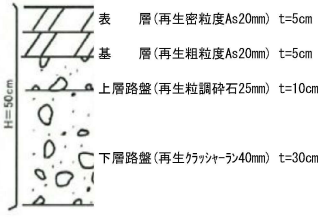
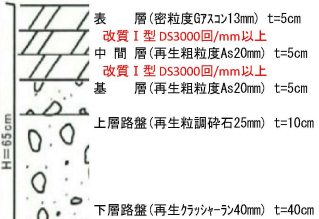
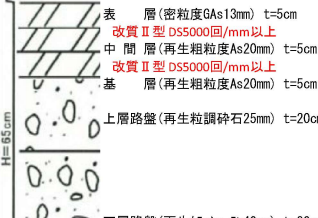
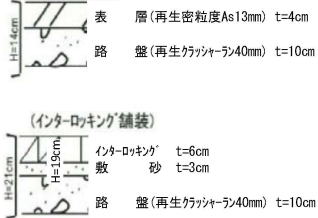
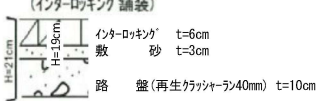
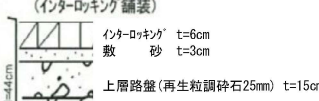
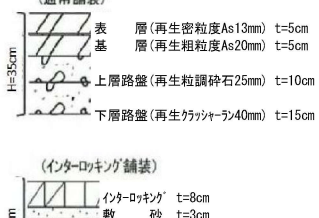
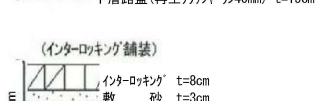
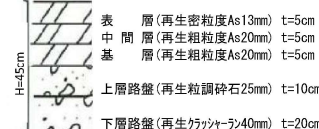


占用工事等の舗装復旧基準(北九州県土整備事務所運用:平成30年10月改訂)

N4交通(従来A交通) 大型車交通量 100以上250未満(台/日・方向) (設計CBR 6 TA=16)  ※マーシャル安定度試験基準値(突固め回数75) ※排水性舗装の場合、表層に排水性アスファルト合材を使用する	N5交通(従来B交通) 大型車交通量 250以上1,000未満(台/日・方向) (設計CBR 6 TA=21)  ※マーシャル安定度試験基準値(突固め回数75) ※排水性舗装の場合、表層に排水性アスファルト合材を使用する	N6交通1(従来C交通) 大型車交通量 1,000以上2,000未満(台/日・方向) (設計CBR 6 TA=28)  ※マーシャル安定度試験基準値(突固め回数75) ※排水性舗装の場合、表層に排水性アスファルト合材を使用する	N6交通2(従来C交通) 大型車交通量 2,000以上3,000未満(台/日・方向) (設計CBR 6 TA=28)  ※マーシャル安定度試験基準値(突固め回数75) ※排水性舗装の場合、表層に排水性アスファルト合材を使用する
N7交通(従来D交通) 大型車交通量 3,000以上(台/日・方向) (設計CBR 6 TA=37)  ※マーシャル安定度試験基準値(突固め回数75) ※排水性舗装の場合、表層に排水性	歩道舗装(一般部) (通常舗装)  (インターロッキング舗装) 	歩道舗装(乗入部Ⅰ種 乗用・小型貨物自動車) (通常舗装)  (インターロッキング舗装) 	歩道舗装(乗入部Ⅱ種 普通貨物自動車(6.5t積以下)) (通常舗装)  (インターロッキング舗装) 
注1) 路床掘削においてFe石灰処理層が出てきた場合、路床埋戻し材料はFe石灰を使用する。 注2) 路盤材や路床の敷均し厚は、使用転圧機械にて現状並に十分転圧できる厚さとする。 注3) 歩道舗装が透水性舗装の場合、表層に透水性アスファルト合材を使用し、路盤下にフィルター層(砂7cm)を施工すること。			
歩道舗装(乗入部Ⅲ種 大型および中型貨物自動車(6.5t積超)) 			

(参考) 北九州県土整備事務所管内における交通区分(H27交通センサス)

N4交通(一般県道) 218 海老津停車場線 219 中間停車場線 224 芦屋港線 291 野間須恵線	N5交通(補助国道) 495 国道495号(2車線区間) N5交通(主要地方道) 55 宮田遠賀線(新道・旧道) 61 小倉中間線 87 岡垣宮田線 98 中間宮田線 N5交通(一般県道) 202 水巻芦屋線 203 中間水巻線 284 高浜東町線 285 浜口遠賀線 286 黒山広渡線	287 岡垣宗像線 288 原海老津線 293 新延中間線 299 岡垣遠賀線 300 岡垣玄海線
N6交通1(補助国道) 495 国道495号(4車線区間) N6交通1(主要地方道) 26 北九州芦屋線 27 直方芦屋線 48 中間引野線 73 直方水巻線		

※占用工事においては、原則 **原形復旧(現況復旧構成)とする**

※不明な場合は、上表を参考とすること。